

本日、山中 竹春 横浜市長が 伊佐 進一 厚生労働副大臣へ提案・要望を行いました

本日（7月6日（木））、山中 竹春 横浜市長が、次のとおり国の制度及び予算に関する提案・要望を行いましたので、お知らせします。

1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
7月6日（木） 15時35分 ～15時50分	厚生労働省 伊佐 進一 厚生労働副大臣	<ul style="list-style-type: none">出産費用の実質無償化に向けた丁寧な制度設計帯状疱疹ワクチン等の定期接種化と財源措置国民健康保険の財政基盤の安定化に向けた支援の拡充 ※ 九都县市首脳会議を代表して、「国民健康保険制度の安定的な運営に向けた財政基盤の強化等について」の要請書を併せてお渡ししました。

2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、お問合せ先までご連絡ください。



<国の制度及び予算に関する提案・要望書>



<国民健康保険制度の安定的な運営に向けた財政基盤の強化等について（九都县市首脳会議）>

3 山中 竹春 横浜市長コメント

このたび、厚生労働省に「出産費用の実質無償化に向けた丁寧な制度設計」「带状疱疹ワクチン等の定期接種化と財源措置」「国民健康保険の財政基盤の安定化に向けた支援の拡充」について、提案・要望いたしました。

伊佐 厚生労働副大臣からは、『『出産費用の実質無償化に向けた丁寧な制度設計』については、今は国においても議論の過渡期であり、横浜市からいただいた具体的な提案を踏まえて検討したい。『带状疱疹ワクチン等の定期接種化と財源措置』については、横浜市の要望を受けて、現場のニーズが多いと認識しており、ワクチン接種の有効期間などのデータなどもふまえて検討したい。『国民健康保険の財政基盤の安定化に向けた支援の拡充』については、国としても支援が必要と考えている。横浜市の要望の方向性は理解した。しっかりと受け止めて検討したい。』とのコメントをいただきました。

この度の提案・要望内容は「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を実現し、都市の魅力を高めていくうえで必要不可欠なものです。

国や県、周辺自治体等と緊密に連携して、日本全体の課題解決と活力の創出に貢献していくうえでも、国において、このたびの提案・要望をぜひ実現していただきたいと思っております。

※今回の提案・要望書は以下のサイトでご覧になれます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/bunken/yobo/2023teian.html>

お問合せ先
政策局大都市制度推進本部室広域行政課担当課長 柴 政紀 Tel 045-671-2109